

第68回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和7年11月13日（木） 15：00－17：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

（1）委員

常田座長、篠原委員、杉田委員、関委員、永田委員、野村委員、山崎委員

（2）事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、三木参事官、樋口参事官

（3）関係省庁等

文部科学省宇宙開発利用課

梅原課長

文部科学省研究開発局戦略官（宇宙利用・国際宇宙探査担当）付

迫田戦略官

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

藤本所長

澤井副所長

青柳部長

渡辺プロジェクトマネージャ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

松浦理事

山中センター長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構有人宇宙技術部門

小川部長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

三保経営企画部長

4. 議事要旨

（1）令和8年度概算要求について

令和8年度概算要求について、資料1を用いて、文部科学省から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

- RAMSES ミッションのタイムリーな打上げについて前回も言及させていただいたが、予算要求いただきニュースにもなったことうれしく思う。欧州の学会でも周知されている。コミュニケーションがなされていると感じた。
- 科学衛星の打上げロケットとしても期待されるイプシロンSロケットの開発に関する予算要求の状況も注視していきたい。
- それぞれのプロジェクトに予算をつけていただき感謝。一方、大学で宇宙研究を続けるのが厳しい。宇宙科学・探査に関する人材の育成・すそ野拡大も重要と思う。しっかりと取り組んでいただきたい。

(2) 宇宙基本計画工程表の改訂に向けた提案に関する審議について

宇宙基本計画工程表の改訂について、資料2—1、資料2—2を用いて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）から提案があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

- JAXA からの機器・打ち上げ機会の提供により、RAMSES ミッションは、ESA とのイコールパートナーとなれるのか。
- Destiny⁺と RAMSES は、H3 ロケットで相乗りで打ち上げることになっているが、Destiny⁺が先に着くことになるのか。
- MMX から LiteBIRD の間に新たなミッションを計画する可能性はあるのか。シーズはあるはずで、他のミッションの影響やミッションの長期化・難化等の背景があったと思うが、まずはテーマの提案が重要であり、今後も検討を進めていただきたい。
- OPENS-0 は、シリーズ形式のプロジェクトとしてやっていくものと感じたが、具体的な計画へと発展させて欲しい。また、人材育成の観点で OPENS-0 の位置づけはあるのか。本件が、どのように戦略中型や人材育成に貢献していくのか今後とも報告いただきたい。
- NASA の営業停止によるミッションの遅延等の影響はあるのか。
- 宇宙科学・探査においてデータや AI を活用していく必要があるのではないか。
- アルテミス計画において、月面に日本人宇宙飛行士が降り立つ予定であり、その際、月面からのサンプルリターンも想定される。日本として、どう活用していくのが重要。有人等での活用も想定されるところ、宇宙研と有人部門でのコミュニケーションをとって取り組んでほしい。
- 我が国の宇宙探査で素晴らしい成果が出ていることをしっかり展開できるようにしてほしい。

(3) XRISM の事象に関する報告について

XRISM の事象に関する報告について、資料3を用いて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

- 過去の教訓をしっかりと残して、反映させられるような仕組みを検討してほしい。
- ISAS 単独ではなく、JAXA 全体として再発防止に向けた取組を進めることが必要ではないかと考えており、再発防止策のレビュー・立案と、それに基づく活動のフォローを JAXA 共通部門に担っていただくことを提案したい。今後、半年後を目途に、小委員会に状況を報告いただきたい。

(4) ポスト ISS に関する報告について

ポスト ISS に関する報告について、資料4—1、資料4—2を用いて、文部科学省から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

- ISS の運用終了が地球低軌道活動の終わりと見えないよう、ポスト ISS での利用拡大に向けた取組を引き続き進めていただきたい。
- 民間運営に進んでいく中で、JAXA の役割をしっかりと議論いただきたい。

以 上